

# 蚊およびハエの防除

防疫用殺虫剤

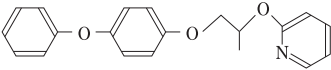
## アーススミラブ発泡錠

第2類医薬品

内容量:6g×100錠

■梱内容:10箱/ケース

■有効成分:1錠(6g)中にピリプロキシフェン30mgを含有



### ■用法および用量

適用害虫	処理方法および散布量
蚊 幼虫 (ボウフラ)	流水域の場合、水量1m <sup>3</sup> につき1~2錠(有効成分0.03~0.06ppm)を発生場所にそのまま投入する。 静止水域の場合、水量2m <sup>3</sup> につき1錠(有効成分0.015ppm)を投入する。
ハエ 幼虫 (ウジ)	水1Lに1~3錠を溶かし、希釈液を発生場所1m <sup>2</sup> につき1Lを散布する。

防疫用殺虫剤

## アーススミラブ発泡錠 10

第2類医薬品

内容量:1g×400錠

■梱内容:10箱/ケース

■有効成分:1錠(1g)中にピリプロキシフェン5mgを含有



### ■用法および用量

適用害虫	処理方法および散布量
蚊 幼虫 (ボウフラ)	流水域の場合、水量1m <sup>3</sup> につき6~12錠(有効成分0.03~0.06ppm)を発生場所にそのまま投入する。 静止水域の場合、水量1m <sup>3</sup> につき3錠(有効成分0.015ppm)を投入する。
ハエ 幼虫 (ウジ)	水1Lに6~18錠を溶かし、希釈液を発生場所1m <sup>2</sup> につき1Lを散布する。

防疫用殺虫剤

## アーススミラブ発泡錠 20

第2類医薬品

内容量:2g×200錠

■梱内容:10箱/ケース

■有効成分:1錠(2g)中にピリプロキシフェン10mgを含有



### ■用法および用量

適用害虫	処理方法および散布量
蚊 幼虫 (ボウフラ)	流水域の場合、水量1m <sup>3</sup> につき3~6錠(有効成分0.03~0.06ppm)を発生場所にそのまま投入する。 静止水域の場合、水量2m <sup>3</sup> につき3錠(有効成分0.015ppm)を投入する。
ハエ 幼虫 (ウジ)	水1Lに3~9錠を溶かし、希釈液を発生場所1m <sup>2</sup> につき1Lを散布する。

防疫用殺虫剤

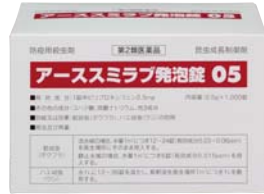
## アーススミラブ発泡錠 05

第2類医薬品

内容量:0.5g×1,000錠

■梱内容:10箱/ケース

■有効成分:1錠(0.5g)中にピリプロキシフェン2.5mgを含有



### ■用法および用量

適用害虫	処理方法および散布量
蚊 幼虫 (ボウフラ)	流水域の場合、水量1m <sup>3</sup> につき12~24錠(有効成分0.03~0.06ppm)を発生場所にそのまま投入する。 静止水域の場合、水量1m <sup>3</sup> につき6錠(有効成分0.015ppm)を投入する。
ハエ 幼虫 (ウジ)	水1Lに12~36錠を溶かし、希釈液を発生場所1m <sup>2</sup> につき1Lを散布する。

## ■特長

### 1.有効成分ピリプロキシフェン配合

昆虫成長制御剤ピリプロキシフェンが、蚊やハエの幼虫・蛹に作用して変態を抑制し、成虫の出現を抑えます。

### 2.高い安全性

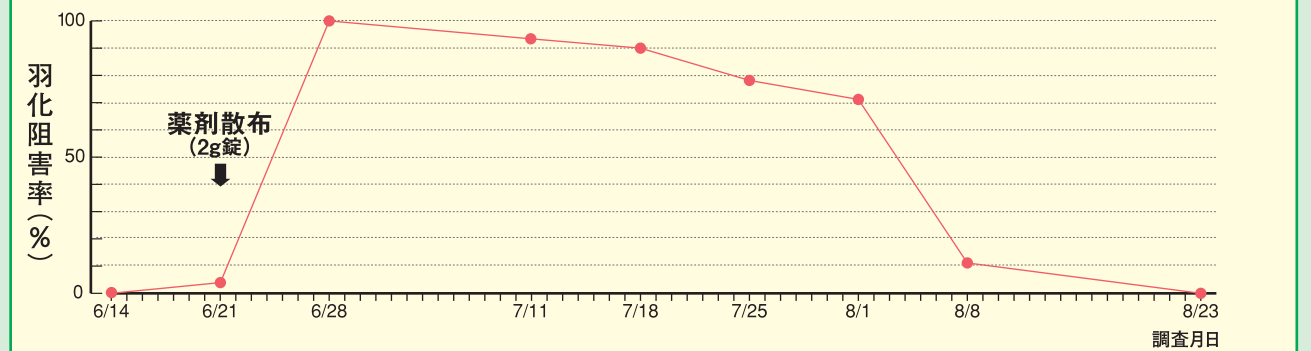
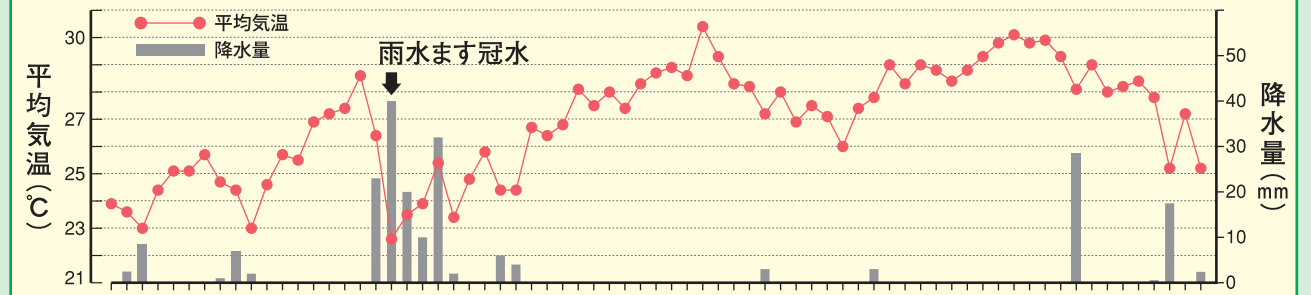
哺乳類、魚類、その他有用動物に対する毒性が極めて低い薬剤です。また、臭いや色もほとんどなく安心してお使いいただけます。

### 3.優れた拡散性

発泡性の基材を用いて錠剤化しているため、水中に投入すると炭酸ガスを発生しながら溶け、隅々まで拡散します。

## ■実地試験成績

雨水ますに生息するアカイエカ群に対する防除効果 薬剤散布場所の条件(増水など)によって残効期間に差が出ますが、蚊幼虫には、長期間の防除効果が認められます。



## ■安全性

### ●アーススミラブ発泡錠の毒性試験成績

毒性試験	対象動物	LD <sub>50</sub> 値 (mg/kg)
急性経口毒性	ラット	>4,000
	マウス	>5,000
急性経皮毒性	ラット・マウス	>6,000

LD<sub>50</sub>値: 50%致死薬量

### ●アーススミラブ発泡錠の魚毒性試験成績

対象動物	TLm48時間 (ppm)
コイ	232
対象動物	TLm24時間 (ppm)
ミジンコ	>1,000

TLm値: 魚類群50%致死濃度

アーススミラブ発泡錠は、標的害虫(蚊、ハエ)には高い効果を示しますが、標的外生物、例えばトンボ、ホタルなどの水棲昆虫やカイコ、ミツバチなどの有用昆虫に対しては、通常の使用濃度内では影響は認められません。